

# 花高同窓会会報



## 第 122 号

発行 令和 3 年 11 月 27 日

秋田県立花輪高等学校  
同窓会事務局

〒018-5201 鹿角市花輪字明堂長根12  
TEL0186-23-2126 FAX0186-23-2137  
URL <http://www.ink.or.jp/~hanakoudousou/>

印刷 (株)成文社



### 挨拶



花輪高校  
同窓会長  
関 厚  
(二四期)

#### 一 鹿角市長に就任

六月の鹿角市長選挙で当選し七月から鹿角市長を務めております。全力で頑張りますのでよろしくお願いたします。

#### 二 青垣山の変遷と文武両道の校風

今の「青垣山」は森の風景ですが、六十年前までには茅場がおおく草地の風景でした。街並みもこの間、おおきな変化をみせています。

一方、文武両道の校風は、ながくひきつがれています。九十年代前の草創期、校長先生は「君たちは鹿角の文化の担い手である。君たちが教養豊かな女性となれば鹿角の文化を高めていかなければならない。」と訓示し、南部忠平氏や織田幹雄氏などオリピックのメダリストを鹿角までよび郡内の青年の指導に当たらせていました。また当代一の作曲家で、戦前の校歌作曲の山田耕筰先生に合唱の指導をおねがいでしました。校舎の整備には学生のモッコ担ぎが活躍しており、五十年前の明堂長根への引越しにはわたしも参加しています。

文武両道の校風は諸先生や諸先輩、地域のみなさんご指導やご支援により、ひきつがれ、

たかめられ今日に至っています。

#### 三 統合校へのとりくみ

令和六年、発足する統合校は歴史と伝統のある小坂高校、十和田高校との統合で、現在まで制服の制定、校舎の一部改築がすすんでいます。

昨年は、三高校の同窓会で協議会をつくり、秋田県高校教育課の担当者との説明会を開催し同窓会関係者の質問や意見をいただいております。この中で通学手当や周辺の交通の整備などの課題が指摘されました。今後同統合校へ同窓会の意見が反映していくように努めるとともに、課題解決のため秋田県、鹿角市、小坂町など関係機関にご支援をお願いいたします。同窓会会員みなさまのご意見や提案をお願いいたします。

今後ともよろしくお願申し上げます。

#### 着任のあいさつ



校長  
佐藤 真之

四月に着任しました、佐藤真之と申します。創立九六年目を迎える鹿角地域の中心校に着任できたことを大変光栄に思います。毎日、校舎からの素晴らしい眺めや明るく爽やかな生徒たちに接し、清々しい気持ち

で生活しております。今年はいつになく晴天が多いように感じてしまうほどです。

同窓会員の皆様には、常日頃から本校の教育活動に御理解と御協力をいただき誠にありがとうございます。多くの会員から成る同窓会組織は伝統校特有の財産であり、本校でも同窓会員の皆様の支えを大変心強く思っております。どうか今後ともよろしくお願いたします。

着任するまではスキー部・陸上競技部、吹奏楽部などの強い部活動のイメージが先行していた花輪高校でしたが、中に入ってみると、これまでの先輩たちも現在の生徒たちも、部活動ばかりでなく、日々の学習、探究活動、行事などに精一杯取り組み成果をあげていることに気付かされました。そしてこの「文武両道の花輪高校」の伝統を受け継いでいかなければならないと感じました。今年もすでに実業部や陸上競技部などの活躍が見られましたが、年度の後半も三年生がそれぞれの高い進路希望を叶えてくれることや部活動等においてさらに良い成績を積み上げてくれることを期待しています。

鹿角地区の三高校は三年後には統合を迎えることとなりますが、地域および県内外の皆様より高評価と信頼を得られる学校になるためには、中核となる花輪高校がその価値を一層高めなければなりません。生徒・教職員が力を合わせて努力して参りますので、皆様の変わらぬ御支援と御協力をお願いいたします。

略歴  
大仙市出身。二〇一八年十和田高校教頭、二〇年横手高校副校長。秋田大学卒



会報副委員長  
吉村 アイ(19期)

新型コロナウイルス感染症が首都圏で蔓延している最中、鹿角市では三月に市議会議員選挙、六月には市長選挙が行われた。

市議会議員選挙では、三十代の新人二人が当選した。若い世代に対する市民の期待感が大きいことを改めて感じたものの、残念なことに女性の立候補者がいなく、これに対し、落胆する声も多かったです。これで、秋田県内の市の中で唯一女性議員のいない市となったのである。

また、市長選挙では、現職の退任により新人二人が立候補し、激しい選挙戦となり、厳しい戦いを制した同窓会長である関厚氏が当選し新市長となった。

これからの四年間、議員も市長も鹿角市のリーダーとして、第六波が来るのではとされている終息が見えづらいコロナ禍の中で、市民のためにがんばらなければならぬと思う。私たち市民も常に市政に関心をもち、協力して一緒に鹿角市を住みよい市にしよう。

### 総会開催のご案内

日時：令和4年5月20日(金)

18:00 ~ 総会・講演会

19:00 ~ 懇親会

場所 茅茹荘

申込 学校事務室 ☎0186-23-2126

来年は金曜日開催としました。その時期になりましたら、案内をホームページ等に掲載しますので、お誘い合わせの上ご参加ください。

統合に向けてのこれまで



教頭 澤口 栄一

平成二八年度策定「第七次秋田県高等学校総合整備計画」に、花輪高校、十和田高校、小坂高校を対象とした統合が示され、多様なコースを設定して生徒の進路実現を図り、地域社会や国際社会で活躍できる人材を育成する学校を設置することとした。

その後、平成二九年十二月に「鹿角小坂地区高等学校統合に関する協議会」が設置され、鹿角小坂地区三校を一枚に統合再編することとし、統合校の基本理念及び設置学科について意見をとりまとめた。平成三〇年五月に鹿角小坂地区統合校基本構想(案)検討合同委員会を三校で組織し、基本構想(骨格



プール解体

「留学生が沢山入學する高校をつくらせていただきたい」という提案である。二つ目はスキーを中心に「体育科を作って部活動の盛んな学校にしたい」という提案である。競技ス



新しい制服(男女の冬服)

この間、平成三二年四月に花輪高等学校同窓会(当時会長井上高廣氏)は秋田県教育委員会に「鹿角地区統合校への要望について」を提出し、少子化の影響で閉校後

ポーツの強化で学校の特色を出すのであれば、体育コースではなくこれらの提案を実現するために寮の設置が必要であるとも述べている。斬新な提案である。グローバル化に対応した外国語教育の推進

令和四年四月に統合校一期生が三高校それぞれに入學する。一期生の授業、学校生活に関する諸々のことも各委員会で話し合われて

八月の下旬に和歌山県で行われた全国高校総合文化祭の小倉百人一首・かるた部門に鳳鳴高校の生徒とともに出場しました。コロナ禍ということもあり中止になるかギリギリまでわからない状況での開催だったので不安な部分も多かったです。また今回の大会は、地方の大会がほとんど無くなったため、久々の大会でもありました。

卒業してからやや半世紀、すっかり無沙汰していた同窓会ですが、今年度から会報委員会を担当することとなりました。

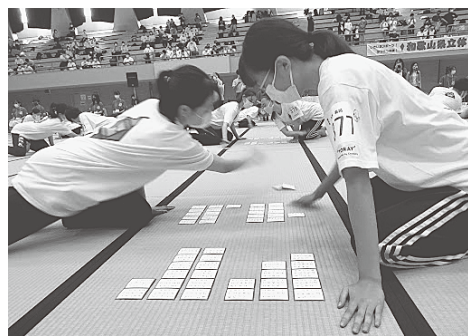
何ヶ月も大会が無くなったので、自分が今全国のレベルのどこにいるかもわからない状況での高校生最後の全国大会でした。他校の生徒とも練習が出来なかつたので個人練習を主体的に行いました。自分の弱点である、動き出すタイミングや最短期間で手を伸ばすことなどに注意して、全国でも通用するような力をつけるように練習を行いました。

青春の汗を流した体育館は青垣の山々に美しく映えています。通学していた校舎は建て変わり、まもなく迎える統合により制服や校名、校歌が新しくなることに一抹の寂しさを感じつつ、この時期に会報委員長を仰せつかったことに何かしらのご縁を感じております。これまで不義理をしていた分、微力ながら頑張りたいと思っておりますので、どうぞよろしく願います。

新役員紹介  
会報委員長を拝命しました



副会長 安保 範子 (二八期)

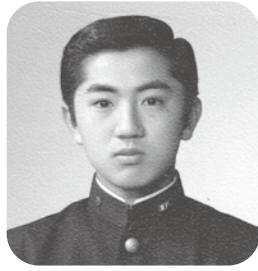


鳥取県の選手と対戦している一戸さん(左)

高校総合文化祭に  
参加して  
三年B組 一戸 亜緒唯

市長にインタビュー

「進むべき道を決めた花高時代」  
関厚鹿角市長に聞く



高校時代の同窓会長 関厚 (24期)

「進むべき道を決めた花高時代」

関厚鹿角市長に聞く

と色んなことに興味を示し行動に移す多感な生徒でしたね(笑)

Q 中でも強く印象に残っていることは?

A 「生物部ですね。生物部では一年の時に八幡平縦走研修を二泊三日で行うのですが、大深で大雨に遭遇したり、その雨と霧に包まれた長沼や八幡沼などの神秘的な光景に出会ったことも忘れられません。今でも時々フツとそんな光景が思い出され、別世界の中にあるような気がする時があります。そして、そんな時に出会いお付き合いさせていた環境省はじめ各方面の多くの人たちの影響で、自然を追究するその後の進路や人生が決まったと言っても過言ではありません。高校時代は自分の将来を『決定する時間』でもありませんでしたね」

Q どんな高校時代でしたか?

A 「部活は生物部に入っていたほか、新聞部にも所属し部長も務めました。また、生徒会長になり当時男子に着用が義務付けられていた制帽の自由化を全校総代会の場で学校側に訴えるなど、忙しくも充実した日々を送りました。それから陸上部で中距離もやり、全校マラソン大会では常に八位〜九位でゴールしていました。今から思えば、何か

Q 今の花高生である後輩に希望することは?

A 「花高はこれまで生物部や吹奏楽部、陸上やスキーなど文武両道で優れた歴史を刻んできました。今でもその流れは脈々と生きており、それを大切にしたいと思っています。そして校歌の一節にある『立ちて世界にとよませむ』のとおり、先輩たちが頑張った精神を受け継ぎ未来に向かって歩んでほしい。今でも私の心の中には花高が大きなウエイトを占めています。まもなく小坂、十和田、花輪の三校が統合した新しい高校が生まれますが、各高校の特徴を生かした高校になるといいですね」

「お忙しい中、ありがとうございました。」

文責 北村正人(二二期)



ボランティアガイド雑感



小坂橋樹一郎 (三期)

特別史跡大湯環状列石(以下スト館と略)でガイドするようになって三年ほどになる。はじめた頃は世界文化遺産への登録などあまり現実味がなかったが令和三年六月頃からマスコミ関係の取材が来はじめ、七月二十七日に登録、スト館にてセレモニー挙行。スト館の歴史的な瞬間に立ち会うことになると思ってもい

なかった。以来、新型コロナウイルスのパンデミック中にも関わらず来館者が、二、三倍に増え商機を掴もうと周辺は何かと気ぜわしい動きを見せている。大いに頑張っていて欲しいと思っています。

とはいえ、スト館の価値や魅力は登録で変わるものではないし、スト館には解明出来ていない謎が満載している。学芸員各員の一段の奮起に期待するとともに少しでも手助け出来ればと思っている。

私個人としては、今回の登録は遺跡の保護活用にもまして縄文文化を今の、そしてこれからの社会に反映させるべき大切な遺産を多くの人に伝える機会を与えてくれたと思っている。

では伝えるべきものとは何か。それは一万年の長きにわたる縄文時代の遺跡からは集団による争いの痕跡が見つかっていない。すなわちずっと平和な社会が続いていたということ、戦争をしな

いということが縄文文化の特色といえる。

なぜそれが可能だったのか。狩猟による獲物や採集してきた野草やクリ、トチ、胡桃などの堅果類、それらは集落に住む全員の食料であり、分配も均等であったと思われる。共産主義と違うのは、能力や役割によって分配に差をつけず、誰もが分け合い、助け合って暮らしていたからだとはいえる。だから貧富の差がなく、支配・被支配の関係も起らず、総ての恵みは戴き物であり、住まいや道具は生きていく間の「預かり物」であればこそ、争う必要などどこにもないといえる。

統計によれば、狩猟・採集生活を維持していくには、平均一日に四時間そのために費やすだけで生きていけるという。近時「安心・安全」と言う事がよく言われるが、縄文時代とはなんと心豊かで、安心して暮らせる社会であることか。

栽培・牧畜による農業革命が一部の人間に都合がいいように身分の差を作り、戦争に明け暮れる時代を必然的にもたらした、にしてもここで我々は本当の「安心・安全」について縄文に学び、それを未来に活かす方策を考える時に来ているように感じている。

時々来館者に平和な縄文時代を紹介しながら、弥生以降これまでの時代は少し間違っていたかも知れない、世界に認められた縄文文化を世の中に活かしていきたいでしょう、縄文には一万年の平和の実績があるんですよ、と内心気恥ずかしさをこらえながら話します。

でも、縄文は私に勇気を与えてくれるのです。

活躍している同窓生

秋田酒造株式会社  
小 舘 巖 (54期)

今年の4月から、秋田酒造株式会社の杜氏に就任しました、小舘と申します。

杜氏とは、酒造りの現場の最高責任者のことを言います。酒造りをする蔵人を束ね、蔵内の管理はもちろん、原料の取り扱いから、醪管理、酒しぼり、貯蔵、熟成まですべての工程に目を配っています。酒造りは、米を蒸し、麴を造り、仕込むといった単純な作業だけでなく、麴菌や酵母等の微生物が、うまく働けるように温度、湿度等を管理する生物学の知識も重要となります。

生物学に興味を持ったのが、高校在学中でした。もともと理系教科が好きなこともありましたが、生物学のテストで満点を取り、より生物学が好きになったのを覚えています。

その後、秋田県立大学に進学し、生物資源科学部で醸造学、微生物学、食品科学等を学びました。そして、将来は手に職をつけた職人になりたいと考えていたので、生物学の知識を生かして、秋田の発酵文化にも貢献できる、蔵人という職業を選択し、今に至ります。

この冬、杜氏としての最初の造りが始まります。米、水、麴、酵母の力を生かせる酒造りを心がけ、安全・安心に酒を醸していきたいです。どんな酒に仕上がるか、私も楽しみです。



第九回同窓会  
ゴルフコンペ開催

清々しい秋晴れになった九月二十七日、大舘カントリークラブで第九回同窓会ゴルフコンペが開催されました。結果は、優勝工藤幸夫さん、準優勝井上高廣さん、三位小田修さんでした。その後懇親会も行われ、高校統合などの話題で大いに盛り上がりました。来年は第十回となりますので、記念大会として大々的にやりたいと思います。参加を希望される方は、この時期になりましたら事務局までお問い合わせ下さい。

令和2年度 同窓会決算書

収入の部					
項目	本年度予算額 (A)	本年度決算額 (B)	増減 (B)-(A)	摘要	前年度決算額
1. 会費	1,437,120	1,463,960	26,840		1,488,820
(1) 会費	900,000	929,900	29,900	同窓生会費	958,000
(2) 入会費	537,120	534,060	△ 3,060	※1,440円×369+2700	530,820
2. 繰越金	521,442	521,442	0	前年度より	463,649
3. 雑入金	0	0	0		0
4. 諸収入	438	5	△ 433	預金利息等	4
合計	1,959,000	1,985,407	26,407		1,952,473
支出の部					
項目	本年度予算額 (A)	本年度決算額 (B)	増減 (B)-(A)	摘要	前年度決算額
1. 会議費	50,000	0	△ 50,000		27,990
2. 会務費	780,000	488,184	△ 291,816		497,879
(1) 旅費	140,000	0	△ 140,000		0
(2) 消耗品費	10,000	220	△ 9,780	事務用品等	8,095
(3) 通信費	550,000	419,841	△ 130,159	同窓会会報発送費等郵送料	421,716
(4) 振込手数料	80,000	68,123	△ 11,877	会費振込手数料	67,868
3. 事業費	460,000	398,684	△ 61,316		392,492
(1) 印刷費	360,000	327,127	△ 32,873	会費振込用紙、会報(2回)	338,232
(2) 記念品費	60,000	49,064	△ 10,936	卒業記念品(印鑑ケース)	48,700
(3) 広告費	20,000	1,833	△ 18,167	高校野球応援広告	5,560
(4) 広報費	20,000	20,660	660	ホームページ充実謝礼	0
4. 渉外費	30,000	0	△ 30,000		0
(1) 渉外費	10,000	0	△ 10,000		0
(2) 慶弔費	20,000	0	△ 20,000		0
5. 助成費	600,000	500,000	△ 100,000		500,000
(1) 部活動助成費	350,000	350,000	0	インターハイ等助成金、部活後援会助成	350,000
(2) 進路指導助成費	150,000	150,000	0	PTA進路指導助成	150,000
(3) 支部助成費	100,000	0	△ 100,000		0
6. 備品費	14,000	12,870	△ 1,130	卒業アルバム	12,870
7. 積立金	0	0	0		0
8. 雑費	2,000	0	△ 2,000		0
9. 予備費	23,000	0	△ 23,000		0
合計	1,959,000	1,399,738	△ 559,262		1,431,031

令和3年度 同窓会予算書

収入の部					
項目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増減 (A)-(B)	摘要	前年度決算額
1. 会費	1,451,520	1,437,120	14,400		1,463,960
(1) 会費	900,000	900,000	0	同窓生会費	929,900
(2) 入会費	551,520	537,120	14,400	※1,440円×383人	534,060
2. 繰越金	585,669	521,442	64,227		521,442
3. 雑入金	0	0	0		0
4. 諸収入	811	438	373	預金利息等	5
合計	2,038,000	1,959,000	79,000		1,985,407
支出の部					
項目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増減 (A)-(B)	摘要	前年度決算額
1. 会議費	50,000	50,000	0	総会費用他	0
2. 会務費	780,000	780,000	0		488,184
(1) 旅費	140,000	140,000	0	支部総会出席旅費	0
(2) 消耗品費	10,000	10,000	0	事務用品等	220
(3) 通信費	550,000	550,000	0	同窓会会報発送費等郵送料	419,841
(4) 振込手数料	80,000	80,000	0	会費振込手数料	68,123
3. 事業費	460,000	460,000	1,000		398,684
(1) 印刷費	360,000	360,000	0	会費振込用紙、会報(2回)	327,127
(2) 記念品費	60,000	60,000	0	卒業記念品(印鑑ケース)	49,064
(3) 広告費	20,000	20,000	0	高校野球応援広告	1,833
(4) 広報費	21,000	20,000	1,000	ホームページ充実費用	20,660
4. 渉外費	30,000	30,000	0		0
(1) 渉外費	10,000	10,000	0	渉外活動費	0
(2) 慶弔費	20,000	20,000	0		0
5. 助成費	600,000	600,000	0		500,000
(1) 部活動助成費	350,000	350,000	0	インターハイ助成金、部活後援会助成	350,000
(2) 進路指導助成費	150,000	150,000	0	PTA進路指導助成	150,000
(3) 支部助成費	100,000	100,000	0	各支部助成	0
6. 備品費	14,000	14,000	0	卒業アルバム	12,870
7. 積立金	0	0	0		0
8. 雑費	0	0	0		0
9. 雑費	2,000	2,000	0		0
10. 予備費	101,000	23,000	78,000		0
合計	2,038,000	1,959,000	79,000		1,399,738

花輪高校同窓会  
令和2年度決算書、令和3年度予算書

収入総額	1,985,407	定期預金(H27積立分)	400,221
支出総額	1,399,738	定期預金(H28積立分)	300,104
差引残額	585,669	定期預金(H29積立分)	200,051
		定期預金(H30積立分)	200,034

収入総額	2,038,000	定期預金(H27積立分)	400,221
支出総額	2,038,000	定期預金(H28積立分)	300,104
差引残額	0	定期預金(H29積立分)	200,051
		定期預金(H30積立分)	200,034